

	第33回平和祈念コンサートを開催
と き	8月1日（金） 午後6時～8時
と こ ろ	練馬文化センター（練馬1-17-37）
区は、8月1日（金）、練馬文化センターで平和祈念コンサートを開催した。 平和祈念コンサートは、音楽や戦時体験の講演をとおして、平和の大切さ、尊さに思いを寄せ、恒久的な世界平和を祈念する機会として、平成4年度から毎年開催しており、今年で33回目を迎えた。当日は964名の方が来場された。 戦時体験講演では、戦時中、現在の練馬区小竹町にお住まいだった西村昭彦さんをお招きし、食べ物に苦労された当時の生活や空襲の体験、疎開先での暮らしについて語っていただいた。来場者からは、「平和について考える機会になった」といった声が寄せられた。 コンサートでは、サクソフォン奏者の田中拓也さんとピアノ奏者の中野翔太さんが、クラシックの名曲の数々などを披露し、お二人が奏でる美しい音色が会場を包み、集まった聴衆を魅了した。	



▲コンサートの様子

【戦時体験講演者】

にしむら あきひこ
西村 昭彦… 4歳から12歳まで現在の練馬区小竹町に居住し、戦争を経験。
小竹図書館において、戦時体験の講話を行っている。



▲戦時体験講演の様子

- ・ 昭和8年、新宿区西落合で生まれる。
- ・ 小学校2年生の時に戦争が始まり、6年生の夏まで続いた。
- ・ 戦争が始まり、戦争前までは不自由の無かった生活が、段々と変わっていった。戦況が悪くなってからは、全ての商品が配給制となってしまう、お金を持っても物が買えない・手に入らない。家族分の食べ物に全然足りない、電車で所沢周辺の農家まで家にある着物や帯などを持っていき、物々交換をしていた。
- ・ 6年生に進級した昭和20年4月には、池袋周辺が大空襲にあい、池袋方面の東の空一面が真っ赤になっていた。5月になると空襲がますます激しくなり、昼間には空が見えなくなるくらいの数のB-29が低空で編隊を組んで、北の空に向かって飛んでいくのを何回も見た。学校の近くにも時限爆弾が落ち、弟と見に行った。
- ・ 5月末に群馬県に縁故疎開をした。授業の他に、山で焼いた木炭や切り倒した材木の薪を、山から麓まで背負い下りてくる仕事をしたり、近隣の農家で畑を耕したり草むしりの作業を手伝った。
- ・ 8月15日に玉音放送を疎開先の人や家族と一緒に聞いたが、何を話しているのかは分からなかった。
- ・ その後、12月に東京に戻り、同級生たちと再会することができた。

【平和祈念コンサート出演者】

たなか たくや
田中 拓也（サクソフォン）

…東京藝術大学および大学院修了。第25回日本管打楽器コンクール第1位。全国各地で様々なコンサートを行っている。

なかの しょうた
中野 翔太（ピアノ）

…ジュリアード音楽院・大学院卒業。クラシックを基盤に、リサイタルや幅広いジャンルを手掛ける実力派ピアニスト。